平成１９年度

生徒用

「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）

中学校　第１学年　社会

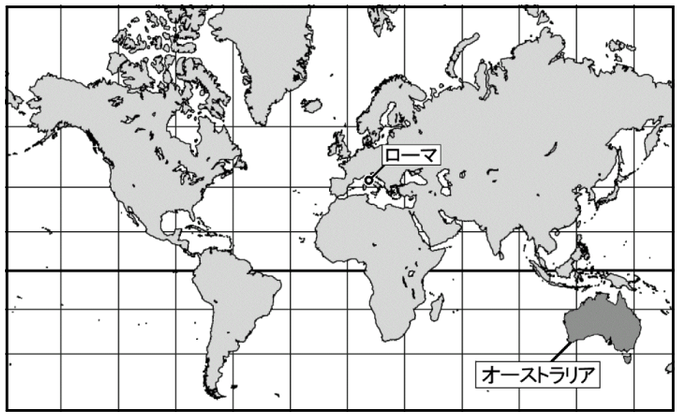
○問題用紙は４枚，解答用紙は２枚あります。

		年　　組　　号	
学校名		名　前	

熊本県教育委員会

1 陽子さんと誠也さんは，小学校６年生のときに学習した世界の国々について，右の世界地図を見ながら話し合っています。次の各問いに答えなさい。

地図１【緯線と経線が直角に交わった地図】



陽子：「小学校で，日本と関係の深い国々について勉強したね。」
誠也：「ぼくは，オーストラリアを調べたよ。この国は，［　　A　　］ので，季節が日本と逆なんだって。」
陽子：「私は，イタリアについて調べたわ。」
誠也：「イタリアだったら，a ぼくのお姉さんも旅行したことあるよ。その時，『おみやげは何がほしい』って，国際電話をしてきたんだ。」
陽子：「あ，そうなの。それではイタリアについて１つ問題を出すわね。b イタリアの首都のローマは，日本から見てどの方位にありますか。」
誠也：「地図１では，［　　B　　］から，西でいいんでしょ。」
陽子：「残念！ c こっちの地図２で確かめてごらん。」
誠也：「なるほど，違うね。地図にはいろんな表し方があるんだね。」
陽子：「もっと d いろんな国について調べてみよう。」

(1) 誠也さんは［　A　］で，どんなことを言ったのか，予想して書きなさい。

(2) 下線部ａについて，誠也さんのお姉さんがイタリアから誠也さんへ国際電話をかけてきたのは，イタリアの時間で１１月１７日午前９時でした。このとき日本では，何月何日の何時になりますか。下のヒントにしたがって，計算や説明をしなさい。

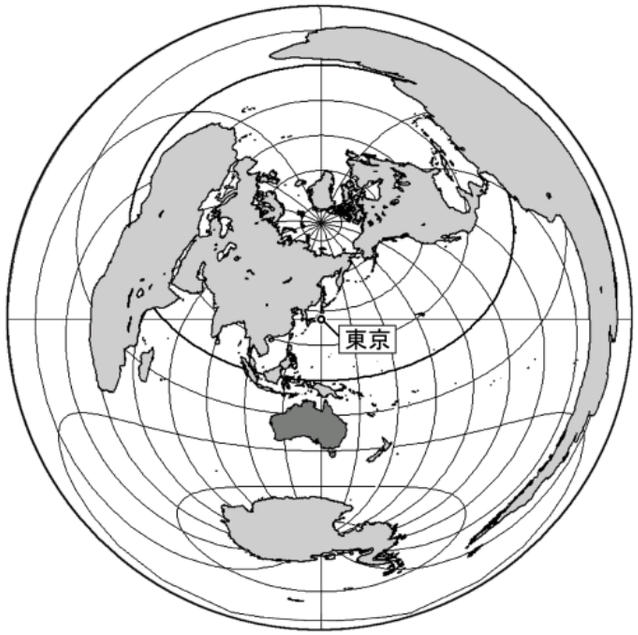
ヒント１：日本は東経１３５度，イタリアは東経１５度を標準とする。
ヒント２：地球は，１時間で１５度回転する。
ヒント３：日本の方が先に日付が変わる。

(3) 下線部ｂの質問について，次の各問いに答えなさい。

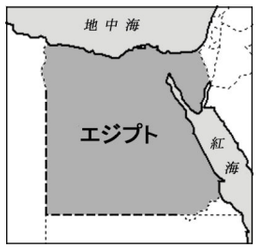
① 誠也さんは，［　B　］でどんなことを言ったのか，予想して書きなさい。

② 下線部ｃで，陽子さんが言った右の地図２を見て，日本からみたローマの方位を８方位で書きなさい。

地図２【東京からの距離と方位が正しい地図】



(4) 下線部ｄについて，下の資料Ａ～Ｃから１つ選んで記号を書き，あなたが調べたいと思うことを，例を参考に具体的に書きなさい。



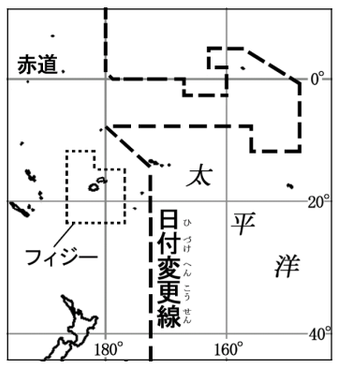
【例】エジプトについて

この国は，南と西の国境線がまっすぐ引かれている。この国境線がどのように定められたのか，この国の歴史について調べてみたい。

Ａ バチカン市国

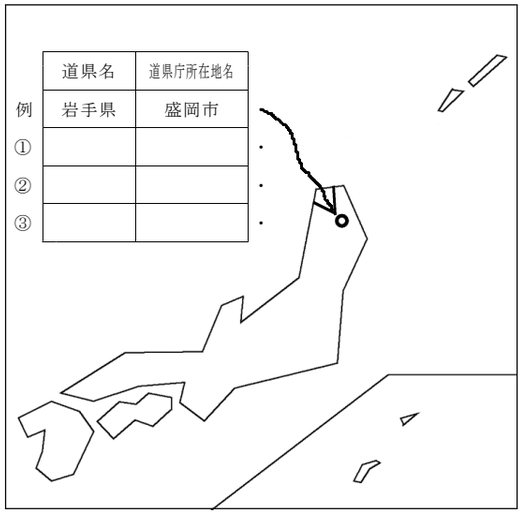
Ｂ トルコ

Ｃ フィジー



2 日本の国土や地域についての学習を終えた誠也さんは，これまでの学習内容をノートに整理しています。次の各問いに答えなさい。

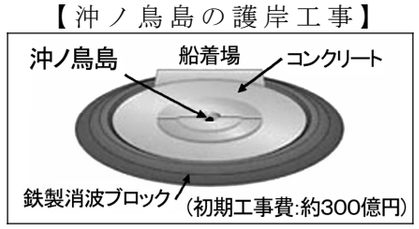
(1) 右の略地図には，まだ北海道がかかれていません。本州や北方領土との位置関係や面積に注意しながら，北海道の大まかな形を，解答欄にかきなさい。



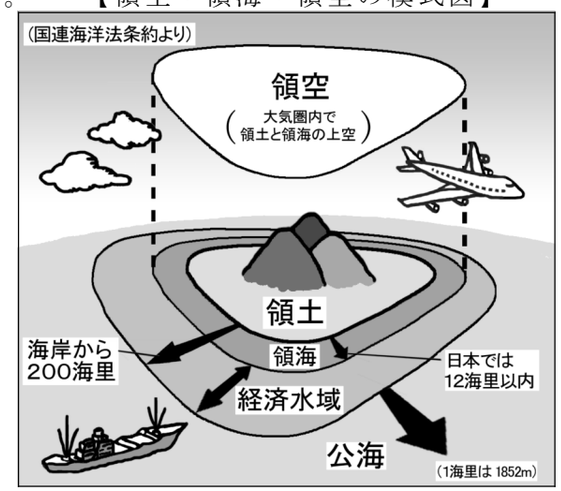
(2) 誠也さんは，道県名とよび名が異なる道県庁所在地が１８あることを学習しました。その中から３つ選び，道県名と道県庁所在地名を書きなさい。また，その道県庁所在地のおよその位置を，「盛岡市」の例にならって解答欄の略地図に ● を書いて表し，⟶ で示しなさい。

(3) 日本の最南端の沖ノ鳥島は，波の浸食による水没を防ぐため，左下の絵のような護岸工事が行われています。誠也さんは，なぜそのような工事が行われたのか考えています。右の模式図を参考にして，具体的に説明しなさい。

【沖ノ鳥島の護岸工事】



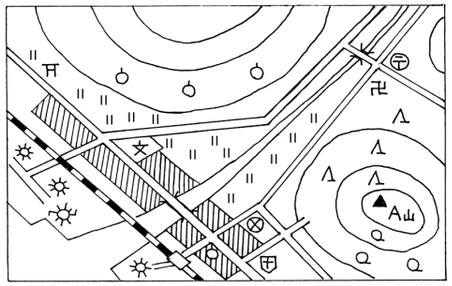
【領土・領海・領空の模式図】



3 陽子さんと誠也さんは，自分たちの住む地域について調べることにしました。次の各問いに答えなさい。

(1) ２人は，まず自分たちの住む地域の現在の地図を見て，話し合いました。

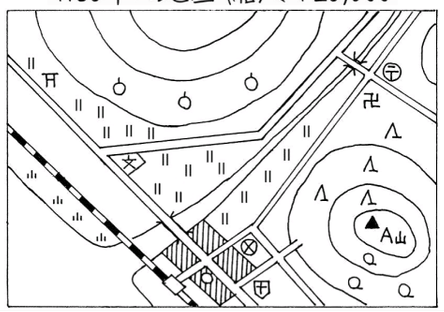
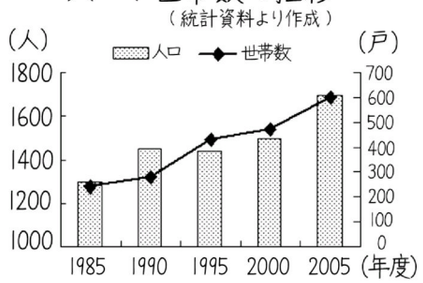
【現在の地図　縮尺　1:25,000】



① 駅から学校まで測ってみると，地図上で２cmありました。実際の距離は約何kmか，計算をして求めなさい。

② 学校の北側にある山の斜面は，どんなことに利用されていますか。地図記号を読み取って書きなさい。

(2) ２人は，自分たちの住む地域の変化をくわしく調べるために，役割分担をして調査を行い，下の表にまとめました。

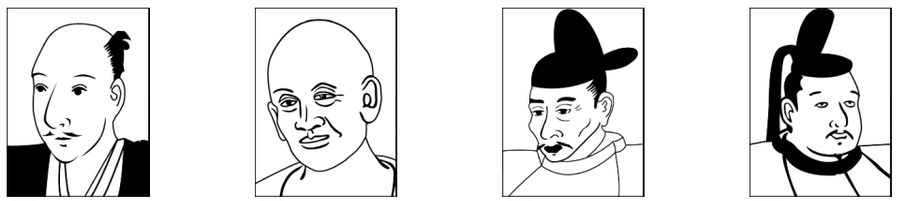
担当	肥後　誠也	熊本　陽子
テーマ	「今と昔の土地利用」	「人口や世帯数の推移について」
方法と内容	昔の地図を見ながら,以前から住んでいる方々に聞き取りを行い,実際に土地利用や建物・施設などがどう変化してきたのかを調査する。	A
資料（地図・グラフ等）	1985年の地図 縮尺 1:25,000 	人口や世帯数の推移（統計資料より作成） 
結果	B	

① 陽子さんは，自分が担当した調査の方法と内容を，A にまとめています。誠也さんの記述を参考にして書きなさい。

② ２人は，地域の様子に大きな変化があることに気づき，B に調査結果をまとめています。どんな点が変化してきたのか，また，その理由としてどんなことが考えられるのか，地図やグラフと関連づけて説明しなさい。

4　陽子さんは，歴史上の１２人の人物を，テーマごとに３人ずつかいて，Ａ～Ｄの４枚のパネルを作っています。次の各問いに答えなさい。

(1)　Ａのテーマにそって，空欄①に当てはまる人物を次の ア ～ エ の中から１人選び，記号で答えなさい。



ア 織田信長　　イ 平 清盛　　ウ 豊臣秀吉　　エ 足利義満

(2)　Ａ～Ｄのパネルの人物で，興味や関心のある人物を１人取り上げて人物名を書き，その人物がしたことを，右の「源頼朝」の例を参考にして，具体的に説明しなさい。

【例】

(3)　Ｂ～Ｄから１枚のパネルを選んで記号を書き，Ａのパネルにならってテーマを考えなさい。また，そのテーマにそってあなたが考えた歴史上の人物名を，新たに１人つけ加えなさい。（絵をえがく必要はありません。）

5　誠也さんは，古代までの日本の歴史について，学習したことをノートにまとめることにしました。次の各問いに答えなさい。

◎文化の伝来

世紀	伝わった文化
紀元前4世紀頃	・稲作
↕	・ ・ ・
6世紀	・仏教 ・律令制度

◎仏教の広がりと影響

ア

(1)　まず，古代の日本に伝わった文化を右表のようにまとめています。紀元前４世紀から６世紀の時期に日本に伝わった文化を２つ書きなさい。

(2)　次に，６世紀に伝わった仏教が，その後の日本にどのように受け入れられたのかを，ア に文章でまとめています。下のＡ～Ｃの資料をもとに具体的に書きなさい。

Ａ　十七条の憲法（一部要約）

一　和をもって尊しとなし、さからう（争う）ことなきを宗と（第一に）せよ。
二　三宝をあつくうやまへ。三宝とは　仏　・法（仏教の教え）・僧なり。
三　　詔　（天皇の命令）をうけたまわりては必ずつつしめ（守りなさい）。

Ｂ　法隆寺

Ｃ　東大寺の大仏

(3)　誠也さんは，下の資料１から，２１歳以上の農民の多くが土地を捨ててにげていたことに気づき，下線を引きました。次に，資料２においてその理由が分かるところをさがし，下線を引こうとしています。あなたならどこに引きますか。解答欄の資料２に下線を引きなさい。（１か所とは限りません。）

資料1　農民の逃亡の例（奈良時代）

年　齢	在帳者	逃亡者
61歳以上	26	5
21～60歳	161	28
17～20歳	17	2
16歳以下	132	2

山城国（京都府）愛宕郡出雲郷（正倉院文書）

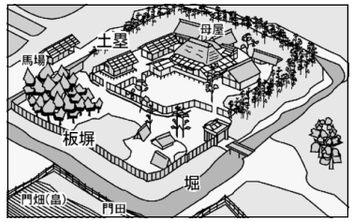
資料2　奈良時代の税

種類	課税対象	税の内容
租	口分田（与えられた水田）	稲の収穫の3%
調	男子17歳以上	絹・糸・特産物 } 自分で都まで運ぶ
庸	男子21歳以上	布（労役のかわり） } 自分で都まで運ぶ
雑徭	男子17歳以上	60日以下の労働
兵役	男子21歳～60歳以下（3～4人に1人）	食料、武具を自分で負担し訓練を受ける。（都1年・防人3年）

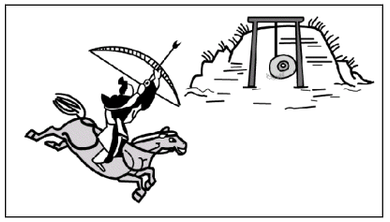
6　陽子さんと誠也さんは，集めた資料をもとに，右のような歴史新聞（鎌倉新聞）を作成しています。その内容について，次の各問いに答えなさい。

(1) 誠也さんは，当時の武士の様子について絵をかき，その絵から分かることをもとに，記事を書くことにしました。鎌倉新聞中の㋐に入る絵として最も適当なものを，下のＡ～Ｃから１つ選んで記号を書き，「奉公」という語句を使って，［　ア　］にその記事を書きなさい。

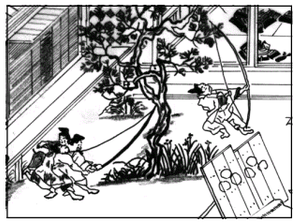
Ａ　武士の館



Ｂ　笠懸をする武士



Ｃ　弓を張る武士たち



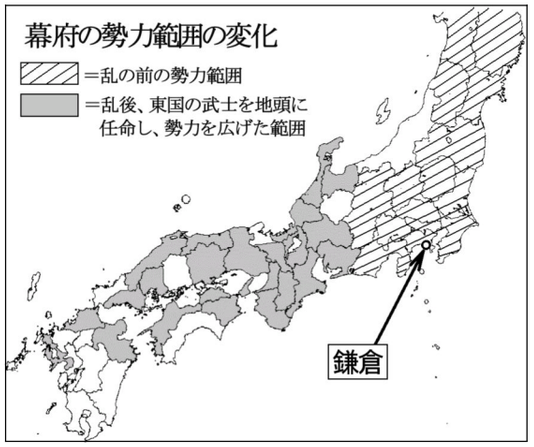
(2) 「承久の乱」のとき，御家人に対して右の資料１のような訴えをした［イ］に当てはまる人物はだれですか。その人物の名前を，漢字で答えなさい。

資料１

皆心を一つにして聞きなさい。今はなき頼朝公の恩は山よりも高く，海よりも深い。この恩に報いる心がありますか。名誉を重んじる者は敵を討ち取り，幕府を守りなさい。（「吾妻鏡」要約）

(3) 右の資料２は，鎌倉新聞の中の［ウ］の資料を大きくしたものです。この資料から読み取ったことをもとに，［　エ　］にふさわしい記事の見出しを考えて書きなさい。

資料２



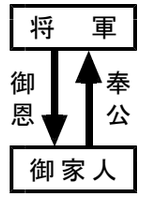
(4) 陽子さんは，竹崎季長について，インタビュー形式でまとめてみました。あなたなら，［　オ　］をどのような会話文にしますか。新聞の中の地図を参考にして答えなさい。

鎌倉新聞

作成者
熊本　陽子
肥後　誠也

1192年 頼朝 鎌倉幕府を開く！

将軍と「御家人」と呼ばれる武士とは，「御恩」と「奉公」という主従関係で結ばれていた。（右図）



右の絵のとおり，武士たちは，

［　ア　］

㋐

1221年「承久の乱」起こる！

後鳥羽上皇が勢力の回復をねらい挙兵

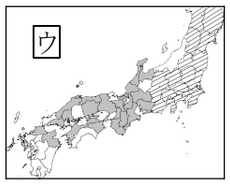
幕府側は，（［イ］）が御家人に訴える

［　　エ　　（見出し）］

この乱では，多くの御家人が幕府側につき，西国武士や公家が味方した上皇軍を破った。

その結果，・・・・・・・・・・・・・。

［ウ］



元寇で 幕府 大ピンチ！

真っ先に敵と戦う竹崎季長

インタビュー

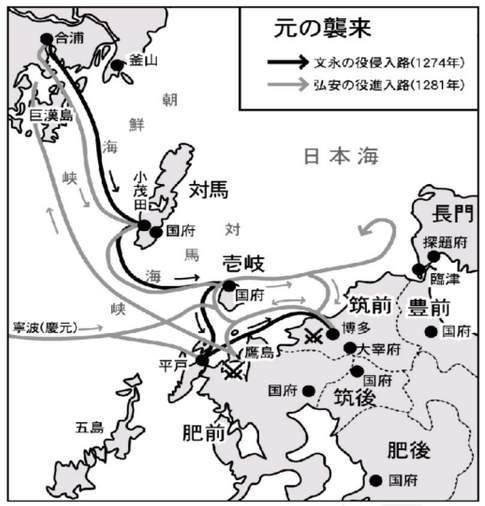
元寇で活躍した　竹崎季長さん

陽子：「元寇では，大活躍でしたね。」

竹崎：「はい！　私たちは幕府のために命をかけて頑張りました。」

陽子：「恩賞の土地はもらいましたか。」

竹崎：「なかなかもらえないです。」

陽子：「えっ！　それはなぜですか？」

竹崎：「下の地図を見て分かるように，［　　オ　　］。」